

「平和のピアノ」

故岡山直先生のピアノが
桜ホールに寄贈されました



空には原爆雲の厚い層が、黒
びろろどの重たい幕となって低く
たれこめ、下側だけが不気味な
赤い色に染まっている。下界では、
凄じい唸りを立ててあらゆるものが
燃えあがっていて、その火炎の炎
が雲を赤く染めているのだった。
建物も木立ちも、遠い山の麓か
ら峰の上まで、ありとあらゆるも
のが燃えていて、その火の中から、
ひよろり、ひよろりと裸の人間が
現れてくる。

岡山直編著『金婚記念誌』
(昭和56年10月発行、私家版)

この一文は、昭和20年8月9日、
三春町出身の音楽教師が経験した、
長崎市への原爆投下直後の光景です。
この続きには、被爆した教え子や市
民の様子が克明に記され、当事者で
なければ描けない原爆の恐ろしさが
記されています。

岡山直先生(1902—86)は、
三春小学校を皮切りに音楽教師とし
て長く教鞭を取られ、太平洋戦争中
は長崎師範学校(現長崎大学)、戦
後は県内の小中高校、郡山女子大学
に勤務されました。

また、三春小学校・三春中学校・
田村高校の校歌をはじめ、県内40校
の校歌を作曲し、自宅での個人レッ
スンでは多くの門下生を育て、三春
町はもとより、県内の音楽文化の振
興に多大な貢献を果たした方です。

三春町役場新庁舎が完成した昨
年、町民の方から、先生のお宅に残
されたピアノを寄附していただいた
らどうかという声が役場に届き、ご
遺族の方にお願ひしたところ、快く
ご寄贈いただき、5月末、役場桜ホー
ルで公開されることになりました。

このピアノから紡ぎ出されたメモ
デイは、今も多くの町民を魅了し続
けていますが、その根底には、長崎
での経験に基づいた、「平和」への願
いが強くあつたと思われまます。

岡山 直(おかやま ただし)先生略歴

- 明治35年 三春町生まれ
- 大正11年 福島師範本科第1部卒業 三春小学校勤務
- 昭和3年 長崎師範(現長崎大学)に赴任
- 昭和20年 長崎原爆被爆 退官帰郷
- 昭和23年 田村高校教諭 ミハルコーラス組織
- 昭和27年 福島県教育委員会 学校教育課 指導主事
- 昭和37年 郡山女子大学教授 附属高校の音楽科新設に尽力
- 昭和56年 郡山女子大学退職
- 昭和61年 7月19日逝去

～岡山直先生直筆の楽譜～



(三春小学校校歌)



(田村高等学校校歌)



(三春中学校校歌)



昭和56年9月 撮影

▼問 財務課 ☎62-2132 生涯学習課 ☎62-3837 教育課 ☎62-6310